

白浜地域まちづくり会議ニュース 第2号

「将来も持続可能な白浜地域のまちづくりを考えよう」～実践活動へ向けての取組～

実施日：平成27年2月18日（水） 会場：白浜公民館

白浜地域で活動や居住されている19名のまちづくり会議委員によって、今回は、前回決めた重要な3つの事柄についての、実現のための具体策を検討しました。

グループごとの成果（Aグループ）

具体的には

方針 方向（基本項目）	方針、方向を実現するために こんなものに取り組んでいきたい	取り組む主体			実施時期		
		行政	住民	企業	短期	中期	長期
1. 自然景観の活用	寝姿山林道沿いから見える海が素晴らしい。						
・海と山の一体化(山と海双方からの景観がすばらしい)	・外浦とか尾ヶ崎（かつて伊豆八景の一つ）、おの浦からの景色も良い						
・手つかずの自然の保全	・林道沿いのビューポイントに看板を設置する						
	俳句を詠む人や写真を撮る人を集める						
	シュノーケリングのみ スキューバダイビングは今は禁止			漁業組合			
	・将来的にはスキューバダイビングをO.Kにしないとダメ						
2. 海岸線に店舗を	尾ヶ崎ウイングで、地場産品、さんま寿司、ところ天、コーヒーなどを出せるとよい（管理団体と相談しなければならない）	管理団体と相談					
・F-1-7新鮮な海の食材を味わえるレストラン等の形成(民宿との連携等)	空き家、空き店舗を活用（地元の食堂・・・できれば各区に作る）		区				
・白浜海岸沿いにおしゃれなカフェやお店があると素晴らしい	・ワンコイン（500円位）で利用できるように						
・干物等の海産物の商店や特産品でつくる食堂の商店街づくり	白浜海水浴場周辺におしゃれなレストランとカフェがほしい。			協会 区			
・郷土料理「さんま寿司」保存会の発足の	・中央海水浴場(区の駐車場付近を活用したらどうか)						
	原田、長田か板戸に温泉施設、駐車場、食堂があると利用する		区				
	・長田では、パーベキュー目的で利用している						
3. 観光に対する 考えを変える	駐車場は統一した料金にすべき（浜から離れるほど安くなる）		区	協会			
・利用施設(休憩所、駐車場)の無料化	・長田区は1,500円で統一されている（民宿だと1,000円）						
・夏料金の廃止	・民宿に泊まると割引されるとか、リピーターは割引されるとかを検討したらどうか						
・組合の統合(市内に組合が多く、大きなイベントができない)	・駐車場に赤ちゃんのおむつ替え場所や授乳のための場所を設けて付加価値をつける	市		協会			
・花火大会、祭り等のイベントの協働体制づくり	（トイレは洋式化しないと子どもが用を足せない）						
・食事をして帰ってほしい	セブンイレブンあるいはトイレ近くの海側は移動販売を公認すればよい	市		協会			
	・ただし夜も営業してもらい、夜ライトアップする						
	・砂が溜まっている部分辺りを整地し、区画を区切って舗装を行い、食べるスペースを確保して、白いテーブルや椅子を置けば人が溜まる場所ができるし、違法販売車も出なくなる。			協会			
	・B級グルメなど移動販売車を持っている所に声をかける。						

グループごとの成果（Bグループ）



具体的には

方針 方向（基本項目）	方針、方向を実現するために こんなものに取り組んでいきたい	取り組む主体			実施時期		
		行政	住民	企業	短期	中期	長期
1. 夏以外の白浜の魅力づくり							
・F-1-7 新鮮な海の食材を味 わえるレストラン等の形成	→ 地場産品の食事・買い物処を						
・F-2-1 歴史資源の保全活動 の実施	三穂ヶ崎の整備（御台場跡） ・駐車場がない			観光 協会			
・三穂ヶ崎の整備（きれいにす るとよい御台場がある。）	昔の写真を所蔵している人（角丈さん）があるので、その 掘り起し、展示をする。						
・体験型の観光客の増加を図 る（ジオサイトの活用）	御釜（白浜神社の裏手）が特に良い（白浜神社を取り込む 必要がある）						
・F-1-2 レクリエーションを楽 しめる環境づくり	海岸沿いの遊歩道（アロエの里を含む） ビーチパレー（国体で一度実施した）大会を誘致 サーフィン大会を誘致など（東京オリンピックに向けて）						オリ ンピッ ク
・F-2-2 外国人の人も参加 できる体制づくり	インターネットの無料開放 外国語による案内板など 日本に住んでいる外国人に情報発信する。 伝えてくれる。			協 会			
2. 道（縦貫道）を活かす	→ 落合 縄地、落合 白浜漁港の接続道の整備						
・B-2-1 伊豆縦貫自動車道の 整備	市道赤間白浜線の整備						
・（仮）蓮台寺ICと白浜地区を 結ぶ道を整備する							
3. 観光客にとって安心・安 全な白浜地域	→ 避難は5分でできるので、わかりやすい避難路・避難地に する。						
・D-1-2（夏の海水浴客に あわせた）避難路の整備	海水浴場の広報（放送設備あり） 夏場に、最高4万人の観光客がいる。その時の対応が必要。 しかし、それらの海水浴客をうまく誘導するのは、大変。						
・D-1-3 指定避難場所等の 備蓄の充実	磯場にいる人（岩陰にいる人）などへの連絡ができない。 対策が必要						
・D-1-4 津波対策施設の整備 （特に海水浴場）							

記入例： 誰が主体 / 主な主体に 2 以上の場合はメインに いろいろまでに / 短期：3年以内 中期：5年以内 長期10年以上20年未満

第3回は、災害後のまちづくりについて検討します。



今後の白浜地域まちづくり会議の予定

第3回 平成27年 3月18日（水）

「災害後の復興まちづくりを考える」

会場：白浜公民館

時間：19:00～21:00

見学が可能です。当日直接会場へお越しください。

お問い合わせはこちらまで

下田市役所 建設課

都市住宅係

TEL:0558-22-2219

FAX:0558-27-1007

E-mail: kensetsu@city.

shimoda.shizuoka.jp